

# 「使用上の注意」改訂のお知らせ

2005年1月  
大正薬品工業株式会社

気道粘液調整・粘膜正常化剤

指定医薬品

## シスダイン錠

L-カルボシステイン製剤

この度、標記製品の「使用上の注意」を改訂致しましたので、お知らせ申し上げます。  
今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

### 改訂の概要

自主改訂により下線部を追加しました。

参考：企業報告

改 訂 後	改 訂 前																
<p>2. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <p>(2) その他の副作用</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>頻度不明</th></tr></thead><tbody><tr><td>消化器</td><td>変更なし</td></tr><tr><td>過敏症<sup>注)</sup></td><td>発疹、湿疹、紅斑、<u>浮腫、発熱、 呼吸困難</u></td></tr><tr><td>その他</td><td>変更なし</td></tr></tbody></table> <p>注)：このような場合には投与を中止すること。</p>		頻度不明	消化器	変更なし	過敏症 <sup>注)</sup>	発疹、湿疹、紅斑、 <u>浮腫、発熱、 呼吸困難</u>	その他	変更なし	<p>2. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <p>(2) その他の副作用</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>頻度不明</th></tr></thead><tbody><tr><td>消化器</td><td>食欲不振、腹痛、下痢、悪心、嘔吐、 腹部膨満感、口渇</td></tr><tr><td>過敏症<sup>注)</sup></td><td>発疹、湿疹、紅斑</td></tr><tr><td>その他</td><td>掻痒感</td></tr></tbody></table> <p>注)：このような場合には投与を中止すること。</p>		頻度不明	消化器	食欲不振、腹痛、下痢、悪心、嘔吐、 腹部膨満感、口渇	過敏症 <sup>注)</sup>	発疹、湿疹、紅斑	その他	掻痒感
	頻度不明																
消化器	変更なし																
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹、湿疹、紅斑、 <u>浮腫、発熱、 呼吸困難</u>																
その他	変更なし																
	頻度不明																
消化器	食欲不振、腹痛、下痢、悪心、嘔吐、 腹部膨満感、口渇																
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹、湿疹、紅斑																
その他	掻痒感																

改訂内容につきましては、日薬連発行「DSU 医薬品安全対策情報 136」に掲載されます。

裏面に改訂後の「使用上の注意」全文が記載されていますので、併せてご参照下さい。

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)肝障害のある患者 [ 肝機能障害のある患者に投与した時、肝機能が悪化することがある。]
- (2)心障害のある患者 [ 類薬で心不全のある患者に悪影響を及ぼしたとの報告がある。]

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1)重大な副作用(頻度不明)

- 1)皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2)AST(GOT)・ALT(GPT)・Al-P・LDH の上昇等を伴う肝機能障害や黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

	頻度不明
消化器	食欲不振、腹痛、下痢、悪心、嘔吐、腹部膨満感、口渇
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹、湿疹、紅斑、浮腫、発熱、呼吸困難
その他	癢痒感

注)：このような場合には投与を中止すること。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[ 妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]

5. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP 包装の薬剤は PTP シートから取り出して服用するよう指導すること。(PTP シートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている)